【乳　TCbH療法について】
（ドセタキセル＋カルボプラチン＋ハーセプチン）

様　　ース目

お薬の名前と治療のスケジュール（副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
グラニセトロン注 デキサート注	吐き気止めです	15分	●																					●
デカドロン錠	吐き気止めです	内服		⬠	⬠																			
ドセタキセル注(75mg/m2)	抗がん剤です	90分	●																					●
カルボプラチン注(6mg/GFR+25)	抗がん剤です	60分	●																					●
ハーセプチン(初回：8mg/kg) 以降：6mg/kg	抗がん剤です	90分（30分）	●																					●

2回目から投与時間が
短くなることがあります。

治療による副作用　　：注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
自覚症状	過敏症																						
		痒みや顔のほてり、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																					
	心機能低下																						
		動悸や息切れ、むくみが現れた場合はお知らせください																					
	食欲不振・吐き気																						
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																					
	口内炎																						
		口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかり行いましょう。																					
	手足のしびれ																						
		手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																					
	脱毛（頭髪・まつ毛・眉毛など）																						
		髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																					
検査値	白血球減少																						
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																					
	赤血球減少(貧血)																						
		貧血の症状（めまい・ふらつき）がでたりします。転倒に注意しましょう。																					
	血小板減少																						
		出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																					
	肝機能低下																						
		体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなることがあります。																					

手や足のむくみ（治療回数が増えると生じることがあります。気になる症状がありましたらお知らせ下さい。）

爪の変化（爪の変色、爪の周囲が赤くなったり痛いなどの症状がありましたらお知らせ下さい。）

＊実際の投与スケジュールと異なる場合があります。
本資料は参考としてお使い下さい

＊注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
＊上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
＊それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
＊何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

国家公務員共済組合連合会
大手前病院